

2018年度 県民協働による事業改善

# 商店街振興事業について の意見と提案

2018. 10. 25

長野大学環境ツーリズム学部

阿部理一、夷藤友樹、掛川悠貴、宮原恒輝



# 1. 自己紹介:私と商店街の関わり

## 【阿部】

- ・松下ゼミ、海野町商店街チーム:現在企画しているのは「商店街ツアー」:小学生を対象に、職業体験や創作体験を通して商店街の魅力に触れてもらうもの。店主との交流も。
- ・まち学:「まちづくり」を様々な観点で捉え、自分にできることから街に関わろうという意識付けをねらった講演会。参加者同士の意見交流もあり。

## 【夷藤】

- ・熊谷ゼミ、小諸市で「歴史的な街並みを活かしたまちづくり」:  
「城下町フェスタ」で、子供たちが昔遊びを楽しむ「こもろっこ王国」、コミュニティづくりを目的とした「城上酒場」運営に関わる。
- ②池田つむぐプロジェクト:池田町を学生の手で盛り上げる活動。  
「観光チーム」に所属し、池田町の魅力を活かした「観光×まちづくり」を学習中。

## 【掛川】

- 長野県上田市・旧丸子町出身。合併後に衰退が進む丸子商店街の復活を目指す。
- 松下ゼミ・海野町商店街チーム
- 「犀の角」とんがり族に所属。
- 池田つむぐプロジェクト 空き家チーム

## 【宮原】

- 地元千葉県でさまざまな地域活動に参画。主にyoutube等、映像メディアを活用した地域情報の発信が得意。
- 現在は上田市と千葉県でイベントの記録や発信、番組制作。直近では、成田市でイベントの告知動画を撮った。
- 父が理事長をしている関係で、千葉県の東金商店街連合協同組合のイベント運営・発信などにも関わっている。
- ゆるい地域メディア「とりどり」主催

## 2. 現在の**上田地域**の**商店街**について**の評価**



# 長所・すぐれている点(中心市街地)

- 組織としてしっかりしている＋商店街内の連携は強い
- 新幹線駅に近く観光地に隣接している＋大学や高校もあり、活性化の条件には恵まれている。
- 犀の角やhanalab、まちなかキャンパス上田など、もともと存在した空き店舗を利用し、新たな拠点やチャレンジの場が作られている点
- 定期的に行われるイベントが複数存在し、それをうまく運営できている点

# 課題・問題と思われる点（中心市街地）

- 普段の人通りの減少。若者が入れる店が少ない。商店街の外に魅力的な商業施設。
- 空き店舗増加。後継者の確保がうまくいっていない。
- 新たなイベント(こと)に積極的な着手が見られない。従来の取り組みだけを守る傾向が強い？
- 普段は自分の店のことで精いっぱいな感じ。商店街全体を盛り上げようという人が少ない？
- 他の商店街や他地域との連携が弱い。取り組みは商店街内で完結している。

# 「周辺部」の商店街の課題： 旧丸子町・上丸子商店街はいま

- シャッター商店街となっており、開いている店の方が少ない。
- 空き店舗の活用をしているように見えない。
- 上田市商工会HP内に丸子地区武石地区の商店の紹介ページがあるが更新されていない。
- 「まるこトットコ会」という、上丸子商店街の活性化をする若手経営者の組織が存在していたが...



# 3. 商店街の活性化と空き店舗の後継者確保のための情報発信について

わたしたちの意見と提案





# 提案の基本的な視点

- 新しい動きを活かす：まちづくりの拠点、若者や起業を志す者のチャレンジとの**連携**
- 店舗所有者や地域の消費者、新たに創業を考える人が普段から交流できる街の**雰囲気**づくり
- 隣接する他の商店街や大型商業施設との**連携**：従来の垣根を越え地域全体で魅力づくりを
- 商店街の隠れた魅力の発信 + それを身近に知ることができる仕組みづくり：対象は**地元住民**



# 提案①ー1 まちなか探検イベント 「まち惚れワンワンツアー」

## 目的

普段見慣れた商店街の、「秘められた魅力」を発掘  
街を歩いてもらう → 回遊性の創出(マップも作っておく)  
商店街の利用者を増やす

## 取り組み内容

職業体験、創作体験や見学を行う。  
参加者は積極的に店主との交流を図る。  
イベント → 情報発信 → 利用者増へ

**主体**: 商店街

**ゴール**: 地元住民が商店街の魅力を再発見し、  
店舗の利用者が増加すること



# 提案①ー2 まちづくりコンペ 「商店街に若いやつ出てこいや」

**目的:** 若い人の商店街利用を促進  
若い人向けの出店を増やす  
空き店舗利用

**主体:** 行政、商店街

## 内容

- 1) テーマは毎年設定。
- 2) 商店街側が、「こんな店を出してほしい」という想いを基に出店者を募る。  
例. 手作りのパン屋さん、ヤンキー、ギャルが集まりそうな雑貨屋・服屋など
- 3) 審査は商店街・行政で。優秀な事業には補助金を充てたり、段階的にチャレンジショップを開いたりなどの支援
- 4) ある程度の年数続ける + 補助金は最初だけ

# 提案②-1 空き店舗改装補助

## 所有者への改装の補助金

### 目的

- 改装し、店舗として活用しやすい状態にしてもらうことで貸したい意志を出してもらうことが目的

### 取り組み内容

- 貸したくても貸せない空き店舗所有者に、その問題を解決するための改装費を補助する。

### 主体

- 県、市町村

### ゴールと予想される効果

- 改装することで、所有者の「貸したくない」「貸せない」という考えから、「貸したい」という考えになってもらう。

# 提案②-2 「空き店舗活用ガイドライン (手引き)」の製作、配布

## 目的

- 所有者、起業者のそれぞれの視点から、それぞれの課題を解決する手引きを作る→「貸したい」「出店したい」へ

## 取り組み内容

- 起業者がどうしたら起業できるのか + 所有者がどうしたら貸し出せるのか、所有物件の抱える問題をどう解決したらいいのか、紹介するための「わかりやすい」手引きを、見やすいパンフレット化し、製作、配布する。

## 主体

- 県、市町村、商店街の連携で政策

## ゴールと予想される効果

- 貸し出したい人、起業したい人が集まり、商店街内の代謝が良くなる。

# 提案③-1 高校生マーケットIN商店街

## 高校生shop「マーケットぼんど」

〔販売(marketing) + 絆/繋がり(bond)〕

### 目的

- ・ 高校生が商店街で商品開発や販売、起業、経済活動。学生の実践の場 + 話題性、集客力で商店街内での経済活動を活発化。

### 取り組み内容

- ・ 高校生が商品開発、出店 → 振興組合等の組織所属 → 協力して、お店を経営 → 商店街の長所、短所を知りより良い商店街になる

### 主体

- ・ 県(教育委員会)、市町村、商店街、学校、学生。県内の農業科、商業科の高校等がタイアップ。

### ゴールと予想される効果

- ・ 学生から実践を経験した優秀な人材を輩出できる。商店街に愛着を持ってもらい、長野県に永住、Uターンするきっかけに → 人口流出にも効果が出る。

# 提案③ー2 大学生によるまちの発信

石川県金沢市では...

平成22年より学生によるまちづくりが条例化  
⇒「金沢まちづくり学生会議」

・マップ作製→まち巡りイベント

・まちなか学生まつり  
→商店街との連携 Etc...

⇒市が助成することで  
学生の動ける幅が広がる



# 「学生まちづくり会議 in 上田」の設立 ～学園都市「上田」を地域活性化に活かす～

目的...学生と商店街が連携したまちづくり

内容...4大学生が主体となって、  
マップ作製、学部を活かしたイベントの実施  
ex.工科短大 → 作成した装置、アプリの体験  
女子短大 → 子ども向けブース  
長野大T学部 → 生態系問題解決レストラン

目標...商店街を知ってもらおう、来てもらおう

⇒学生が発進（発信）！！



# 提案4：一つの商店街を超えた連携をつくる

## 【千葉県東金市の事例】

### 現状

- ・100年以上の歴史があるお店が100件以上連なったが衰退
- ・商店街の住宅地化が進み、現在全長2kmに50店舗程度を残すのみとなった
- ・JRの駅の西口の3商店街が連合協同組合として活動している



## 事例：ハロウィンイベント

- ・仮装して商店街を練り歩き
  - ・各店舗でコインを集めガラポンに参加
  - ・**普段入ることのないお店に入るきっかけ**
  - ・普段通り過ぎる人にも宣伝効果があった
  - ・ショッピングセンターとも連携
  - ・実行委員会を設立
- 商工会、小学校PTA、NPO等も巻き込み、店主だけではなく地域住民にも**自分事**としてもらう狙い



※2018年東商連より



まち歩きイベント

# 「上田ウォーカー Ueda Walker」

## 目的

- ・各商店街や個々の商店と地域住民が触れ合うきっかけづくり！
- ・大型店舗など人の集まる場所から商店街に人の流れを！

## 内容

- ・七夕やハロウィンなど季節の行事に合わせて定期的にツアー開催
- ・スタンプラリーや、何かを集める形式で参加者が自動的にまち歩きをし、普段使わない商店にも入りやすいイベント

## 主体

- ・一つの商店街だけでなく、商工会や他の商店街、NPOなども巻き込んだ実行委員会を発足する

## ゴール

- ・中心市街地に客足の回遊性を持たせ、それぞれの商店街や店舗の得意分野を活かしたまちづくりを目指す。
- ・運営を一つの団体としないことで、情報共有や一体感を生み出す

# マップづくりも効果的

## JR東金駅西口付近を歩いてみよう!

JR東金駅を降りたら、懐かしい商店街。100年も前から元気に営業している老舗商店がここにも、あそこにも。そして、路地を入ると土蔵があり、レトロな町家の建物がたくさんあります。ゆっくり散策しながら時間を巻き戻してみよう。



東金商店街連合協同組合  
印刷：街波通信社

※東商連 街波通信社より

マップ作りと称した  
**ワークショップ**を開催



店主や地域住民  
に参加してもらう



自分たちの商店街  
**現状・特徴を把握**



できたマップで  
商店街を中心とした  
**回遊性を創出**

みんなで作ろう！地元のマップ！

# 提案4:まとめ

商店街の歴史や個々の商店の伝統は尊重しつつ  
時代の流れには逆らわず(客を取り合うのではなく)

周辺の商店街や大型小売店、地域住民も参加できる形

みんなで自分事として考えられるように仕向きたい!

行政の支援を受けて、

周辺で生活する人が協力して商店街で  
イベントを運営



# 全体のまとめ

- 商店街の情報発信と魅力づくりや活性化の取り組みは**一体**のもの。
- これまでの商店街の良さを生かしながら、**新しい動き**を**効果的に取り入れる**ことが重要。
- **学生・若者が活躍できる場**が商店街にはたくさんある。このポテンシャルを活かしていきたい。